

第12期 材料WGの活動内容

2021年11月15日

グループリーダー 山本浩二

材料WGの活動内容

1) 減災WG、地盤WGとの協働課題／技術開発委員会

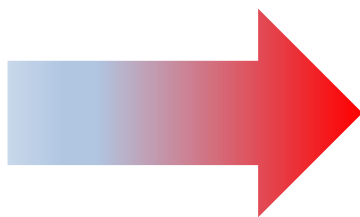
- ① リバーテクノレビー、リリーフウエルの材料・構造の研究と改善・改良の取組み
⇒リバーテクノウエルの目詰まり防止用フィルター(交換用)の確認と対応(地盤WG)
- ② 総合水防演習への参加
⇒新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言等により中止や延期
- ③ 水防災新技術紹介資料作成
⇒ 水防災新技術の資料作成(減災WG)
- ④ 『中小河川でも使える水防災に関する技術情報集Ver.2』のWEB公開に向けた協力
⇒「浸水防止技術」「修復技術」の確認・作成(減災WG)
- ⑤ 流域治水事業における、リバーテクノ研究会開発の水防資材の提案補助活動
⇒ NETIS登録の開始(減災WG)

2) 個別課題

- ① 立体ジオセルを用いた河川上流域の防災対策工の検討
⇒現場への適用性をイメージして検討
- ② 粘り強い河川堤防構築に向けた補強対策(透気防水シートの河川堤防への適用)
⇒施工現場見学会の開催
- ③ 寒地土木研究所 公募共同研究への応募
⇒「越水発生から堤防決壊までの時間を引き延ばす水防工法に関する研究」に
(株)田中、太陽工業(株)が応募

リリーフウエル(リバーテクノウエル)の改良

- 宇治川、巴波川の2箇所でリバーテクノウエルによる水位観測井が施工された。
- 今回、巴波川での観測井撤去に伴い、維持管理用の「目詰まり防止用フィルター材(内管)」が抜けないことが確認された。
 - ⇒ 今後、①フィルター材の確認と構造検討・交換可否確認、
②フィルター交換ではなく、洗浄による機能回復



外側はストレーナー付きプラスチックパイプ
内側に目詰まり防止用フィルター材を配することで、経年後の交換も可能な構造としている



撤去後のストレーナー、フィルターの状況

総合水防演習への参加

- 今年度の総合水防演習は、昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言等により中止や延期になった。
- 令和3年度 姫川水防訓練(北陸地方整備局 高田河川国道事務所)のみ演習参加。

開催日時：令和3年5月16日（日）午前9時～11時20分

会場：新潟県糸魚川市寺島地先（姫川右岸 JR北陸本線姫川橋梁上流側 堤防及び河川敷）



立体ジオセルを用いた河川上流域の土砂流出防止対策

- 河川災害を甚大化させる周辺環境の減災対策
⇒砂防ダムの観点(流出土砂の扞止)ではなく、法面保護工・山腹工的なジオセルを用いた工法提案で進める。

【立体ジオセルメーカーの小WG】

旭化成アドバンス、三井化学産資、三菱ケミカルインフラテック

- ・各社製品の共通する部分の取りまとめ
- ・上流域での山腹保護工等を中心に実績収集



粘り強い河川堤防構築に向けた補強対策 (透気防水シートの河川堤防への適用)

工事名：令和2年度 矢作川渡堤防補強工事

発注者：国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

施工場所：愛知県岡崎市渡町垵口地先 矢作川右岸渡堤防

施工現場見学：2021年3月4日 13:00～



目的：堤防の裏のり滑り対策を目的とした雨水浸透対策

施工位置：堤防裏のり面

- ・多自然型護岸工 L=230.2m
- ・透気防水シート・ブロックマット・覆土(t=300mm) A=約3,500㎡

透気防水シート「ブリーザブルシート」の
河川堤防への適用マニュアル

— 河川堤防「耐浸透機能強化、越流侵食対策」—

「透気防水シートの河川堤防への適用マニュアル」は2018年にリバーテクノ研究会（作成支援委員会）にて監修

平成30年10月

MakMax 太陽工業株式会社

監修：一般社団法人リバーテクノ研究会

MakMax



横断図

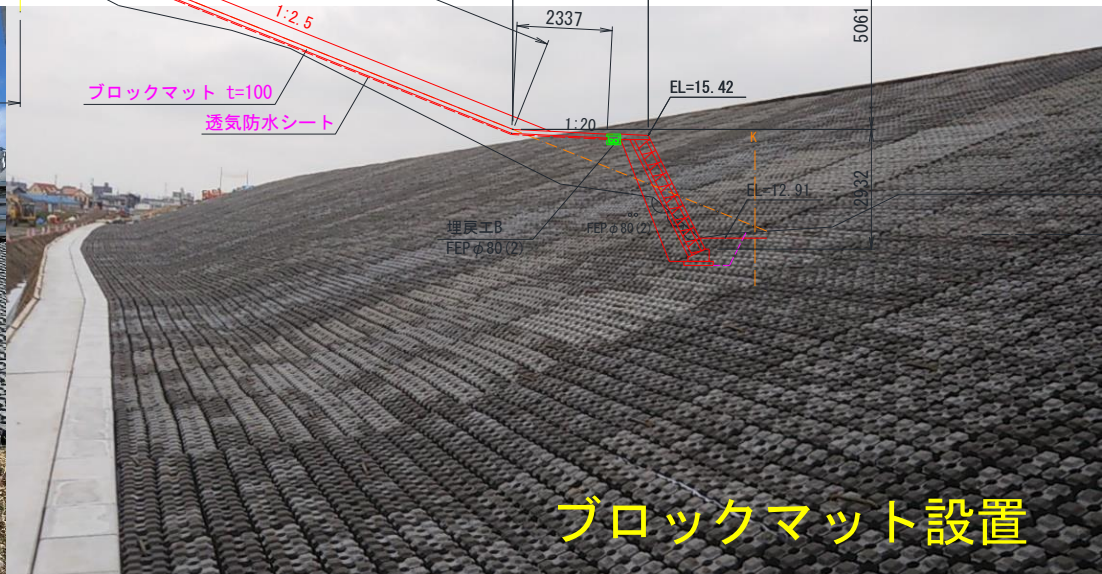
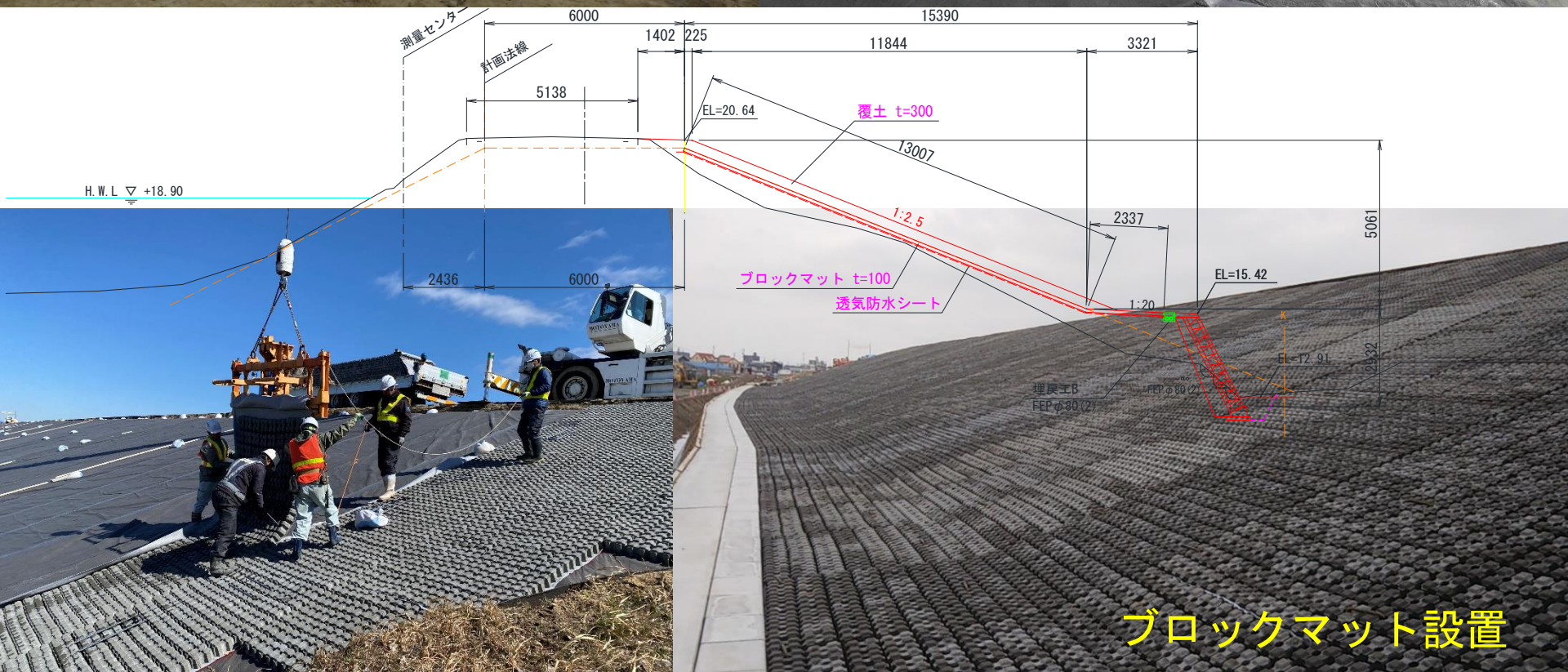
NO. 66

S=1:100

GH=19.45
FH=



透気防水シート敷設



ブロックマット設置